

2024



150th
ANNIVERSARY

100年後にも世界で光り輝く大学へ
漕ぎ出せ 混沌の海に
走れ 創造の彼方へ

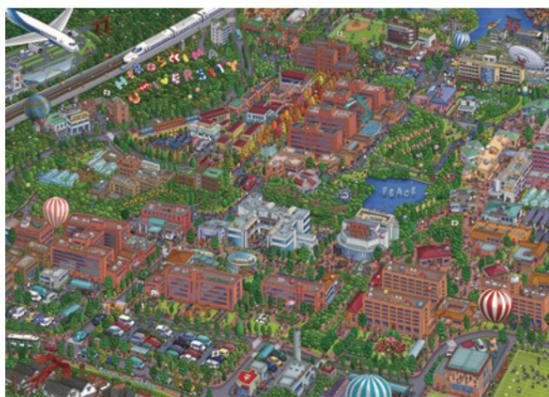
広島大学は
2024年に創立75周年、
前史の75年を加えると
150年の節目を迎えます



広島大学
フェニックスマーク



広島大学マスコットキャラクター
「ひろティー®」



「広島大学 知のワンダーランド」

広島大学のシンボル「フェニックス」(不死鳥、ヤシ科の植物)をモチーフとしたフェニックスマークと、マークを親しみやすくキャラクター化した「ひろティー」を制作しました。デザインは国内外で活躍中のイラストレーター、カミガキヒロフミ氏が担当しました。また表紙の背景は、カミガキ氏が制作したイラスト「広島大学 知のワンダーランド」の線画によるものです。

広島大学基金室

〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
TEL 082-424-6132 FAX 082-424-6179
E-mail kikin@office.hiroshima-u.ac.jp
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>



2023
年度

広島大学基金

活動報告書



広島大学

広島大学基金は2007年に創設され、学生支援事業を中心に本学の教育・研究を支えてきました。2017年からは、広島大学創立75周年、創立前史の75年も加えて150年の節目の年となる2024年に向け、「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」として、周年事業のための寄付募集を行っています。周年事業では、広島大学が躍動できる環境を構築し、地域や実業界との協働を強化することで広島大学の発展を実現するための事業を各キャンパスで行うことを目的としています。

広島大学75+75周年に向けて



これらの事業を通して躍動する広島大学を、地域の方々が最大限に活用し、
広島の地が活性化することを目指しています。



東千田キャンパスを中心とした

- 法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点の構築
- リカレント教育と社会人教育の拠点づくり
- 地域の自治体と連携した防災・減災の拠点づくり
- 産学連携拠点として企業の技術者が使えるラボの設置
- 学生・留学生と企業・行政との交流の場の創設
- 旧理学部1号館を活用した平和に関する情報発信



霞キャンパスを中心とした

- 大学病院への最先端医療機器の積極的導入
- 治験や臨床研究の増大



東広島キャンパスを中心とした

- 世界的な理工系トップレベル研究者の招聘
- グローバルに活躍できる学生や若手研究者を集める環境づくり

広島大学基金を礎に、
広島大学が躍動し、
地域の発展・活性化へつなげる



広島大学長

越智光夫



日頃より広島大学基金へ温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

広島大学では、2024年に創立75周年、最も古い前身校である白鳥学校の設置から150周年となる節目の年を迎えます。周年に向けた事業として、これまで、東広島、霞、東千田キャンパスそれぞれに、教育研究を支える新棟を建設しました。広島大学発祥の地である東千田キャンパスは、2023年4月に法学部が移転し、新棟を拠点に法科大学院と連携した教育プログラムの提供を開始しました。本学の法律に関する学部・研究科を集結させ、「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」を目指します。「医療人養成拠点」となる霞キャンパスでは、2022年に完成した凌雲棟において霞地区の学生の教養教育がスタートしました。また、国からの補助金も活用したワクチン拠点設備の整備を計画しています。日本のワクチンや創薬を下支えする取組の推進を目指し、2026年に稼働予定としております。メインキャンパスである東広島キャンパスでは、2021年9月に完成した「広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ」を核として、Town(まち)&Gown(大学)構想による持続可能な地域の発展と大学の進化を共に目指す取組が着々と進んでおります。それぞれのキャンパスの特色を最大限に活かしながら、これからも地域とともに歩む大学として前進してまいります。

さて、広島大学創立75+75周年では、本学が育んできた伝統と新たな未来を実感して頂ける記念事業を、皆様にも参加いただける形で多彩に展開いたします。中でも、記念事業の象徴となるプロジェクトとして、広島大学オリジナルデザインでラッピングした広島電鉄の路面電車を、2024年1月から1年間、本学と所縁のある広島電鉄1号線で運行します。広島大学の歴史と、これからも挑戦し続ける思いを多くの皆様にお伝えしたいと考えています。

広島大学は、今後、本学が重点的に取り組む5つの事項を「President 5 Initiatives for Peace Sciences—新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)—」として2024年5月に策定しております。あらゆる分野の研究者が結集する広島大学の強みである「総合知」を活かし、教育研究活動の成果を通じて人々に安心をもたらすことを目標に、半導体エコシステム形成、医薬品開発・再生医療・細胞治療等を通じた健康安全保障、放射線災害管理、海洋・海事のアジア拠点形成、食糧安全保障の5つの課題に取り組んでまいります。100年後にも世界で光り輝き続ける大学として、学生の教育・研究環境を維持・発展させていく上で、皆様からの温かいご寄付は欠かせない基盤であるとともに、大きな励みとなっております。引き続きまして変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

広島大学が躍動し、
 広島の地を活性化させるための
 各キャンパスの拠点整備が進んでいます！

2023年4月
 法学部
 移転完了！

東千田 キャンパス

広島の地の
 活性化

教育研究・情報発信機能の強化

「法曹養成を核とした人文社会科学系の
 新たな拠点」の整備

広島大学発祥の地である東千田キャンパスでは、
 新棟を建設し、法学部の移転が完了しました。法
 律に関する学部・研究科を1つのキャンパスに集
 結させ、法曹養成を核とした、人文社会科学系の
 新たな拠点を目指します。そのほか、若者・留学生
 の増加や企業の競争力向上への寄与、防災・減
 災拠点としての拡充など、キャンパスの機能強化
 を通した地域のにぎわい創出へ貢献します。



総合校舎L棟

●5Fに地域連携拠点、6Fに体育館を整備



法科大学院
 (実務法学専攻)と
 法学部の連携強化

- 「法学部・人間社会科学研究科人文社会科学専攻法学・政治学プログラム」を東広島キャンパスから東千田キャンパスに移転
- 「法曹コース」(2021年4月設置)の修学環境の整備
- 法科大学院の教育環境の充実
- 法学部・経済学部夜間主コースのカリキュラムの充実

リカレント教育と社会人教
 育の拠点づくり

地域の自治体との防災・
 減災の連携窓口設置

学生・留学生と企業・
 行政との交流の場の創設

人生100年時代を見据えた
 医療の高度化・活性化

霞 キャンパス

ワクチン・医薬品
 製造拠点を
 新設へ
 (2026年稼働予定)

「医療人養成拠点」の整備

病院を置く霞キャンパスでは、医療人養成の使命を果たす
 とともに、大学病院へ最先端の医療機器を積極的に導入
 し、地域医療のさらなる発展を図るなどの取組や、ワクチン・
 医薬品製造拠点施設の整備を通じて人生100年時代を
 見据えた医療の高度化・活性化を進め、誰もがもっと安心
 して暮らせる広島を目指します。



凌雲棟(新講義棟)

●教養教育の実施 ●研修会等用のホール完備



大学病院への
 最先端医療機器の
 積極的導入

治験や臨床研究の
 増大



グローバルキャンパスの実現・
 起業や投資の増加による広島の活性化

東広島 キャンパス

国際交流拠点「MIRAI CREA (ミライクリエ)」の活用

大学法人本部を置く東広島キャンパスでは、理工系トップレベルの世界的な研究者を招聘で
 きる環境づくりを行い、それを出発点に広島県内の研究レベルを向上させ、起業や投資の増
 加による広島の活性化を目指します。また、2022年8月に授業を開始した米国アリゾナ州立
 大学の広島大学グローバル校とも連携しながら、グローバルキャンパスの実現に向けた取組を
 加速していきます。

世界的な理工系トップレベル
 研究者の招聘

グローバルに活躍できる学生や若
 手研究者を集める環境づくり

MIRAI CREA (ミライクリエ)



●1Fに多目的スペース等、2Fにオフィス・会議室等、
 3～7Fに研究者や留学生の居住エリアを設置

75+75周年記念事業がいよいよ動き出しました!



TOPICS
1

1874年(明治7)年創立の白鳥学校を最も古い源流とし、1949(昭和24)年に新制大学として発足した広島大学は、2024(令和6)年に創立75周年、前史を加えると150年の節目を迎えます。周年の年に向け、広島大学はさまざまな記念事業を展開しています。

75+75周年 ラッピング電車プロジェクト

2024年1月から1年間、本学オリジナルデザインでラッピングした路面電車が、東千田キャンパス、旧工学部キャンパス跡、附属学校近くを通る広島電鉄1号線を運行します。デザインは学生の提案をもとに決定しました。緑の面は歴史や未来を、赤い面は情熱や前進する氣勢を表現しています。また、広島大学の歴史や今後の取組みを、より広くお伝えるため、クラウドファンディングによる寄付募集も実施し、多くの方からご賛同いただきました。



広島大学 in 東京

2023年6月24日、東京都にて「広島大学 in 東京」と題してイベントを開催しました。本学に関心のある高校生とその保護者、高等学校の進路指導教員、在学生の保護者のご家族、企業、その他一般の方を対象に、本学の魅力を伝える講演などを実施しました。また、本学所属の研究者による最先端の研究も紹介しました。

月刊『東京人』 広島大学特集号

2023年8月17日に、月刊『東京人』2023年9月増刊号として「広島大学」総特集が発刊されました。本学の歴史、被爆地・ヒロシマにある大学としての平和への取り組みや各分野での最先端の研究、そして未来への展望など、広大の魅力を余すところなくお届けしています。



本学と月刊『東京人』の協働制作です!

TOPICS
2

広島大学基金より 称号「荣誉学賓」を贈呈

広島大学では、大学に顕著な貢献をされた個人様・団体様へ称号をお贈りしております。2023年10月、多額のご寄付を頂戴した岡田外科医院様へ荣誉学賓の称号を贈呈いたしました。同医院様は1952年に本学霞キャンパス近くに開業後、70余年にわたり地域医療を担われたほか、地域貢献活動も続けてこられました。これまで本学へも多大な貢献をいただいておりますが、閉院にあたり今回のご寄付をお決めくださいました。この度のご支援は、ワクチン・医薬品製造拠点の整備等に活用させていただきます。



TOPICS
3

広島ゆかりの食料詰合せを 一人暮らしの新入生へ!

～ようこそ広大プロジェクト2
(広島大学学生応援プロジェクト第6弾)～

広島大学の新入生の7割にあたる約1,700名は県外の出身です。慣れない一人暮らしを広島の地元食材で応援したい—そんな想いから、2022年より「#ようこそ広大プロジェクト」を企画。多くの方からのご寄付により、今回は合計746名の学生へ「広島食」を届けることができ、学生から大きな反響がありました。



子どもたちの「生きる力」を引き出します

TOPICS
5

小児がん治療 プロジェクト進行中!

広島大学病院は中四国地域で唯一の小児がん拠点病院として、多くの患児の治療を行っています。当病院ではVRゲームの有用性に着目し、成人よりも格段に苦しい治療を頑張る患児の心のケアなどを目的に、ゲーム開発のための寄付募集を2023年10月から開始しました。多くの方々からの寄付金は開発の支えとなっています。

開発進捗など詳しい情報はこちらから



TOPICS
6

「広島大学未来応援 HIZUKI奨学金」 を創設

本学のご卒業で匿名の方のご寄付を原資として、児童養護施設等の出身などの条件を満たす本学入学者へ支給する、新たな奨学制度「広島大学未来応援HIZUKI奨学金」を創設しました。学生本人の責に由来しない事情で、勉学そのものや大学進学を諦めてほしくないという寄付者のご意向と、本学の考える学生支援の方向性が一致したことから実現した制度です。2024年中に募集を開始し、2025年度入学者からの支給を予定しています。

TOPICS
4

課外活動団体を応援する チャリティイベントを実施

2023年10月23日～10月29日に、体育会・音楽協議会団体を応援するチャリティイベントを実施しました。期間中に各団体が獲得した応援投票をもとに、企業からの協賛金や、応援者からの寄付金が団体予算として配分される仕組みです。卒業生・保護者・地域の方から8,200件を超える応援が各団体へ寄せられました。各団体は、応援を糧にそれぞれの目標達成に向け、活動しています。



学生支援への取り組み

進学・修学、海外留学など、さまざまな側面から、学生への経済的な支援を行っています

※学生の所属先・学年は取材当時のものです。

1 フェニックス奨学制度・ 光り輝く奨学制度 2008年度～

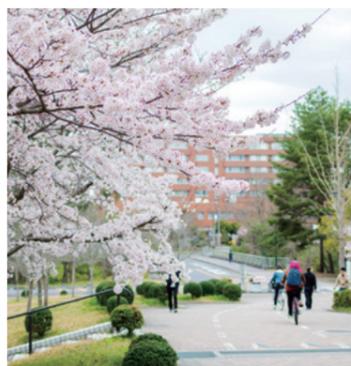
支援人数 207人 支援金額 4億6,462万円

学力が優秀でありながら、経済的な理由により、進学・修学が困難な学生を支援する本学独自の給付型奨学制度です。広島大学基金では奨学生に月額10万円を支援しています。

VOICE 奨学生の声 **仲林和毅さん** 教育学部 第二類自然系コース 4年次生

幼い頃から理科の教員になることを希望していました。教育学と自然科学をバランス良く学ぶことができる、広島大学教育学部への進学を目指していた私にとって、フェニックス奨学制度を運命のように感じたことを鮮明に記憶しています。おかげで、アルバイトに生活を縛られることなく、満足いくまで勉強に時間を割くことができました。今後は大学での学びを生かし、社会に貢献したいです。

奨学生の声の全文はこちら

2 短期海外研修支援 (STARTプログラム) 2010年度～

支援人数 1,889人 支援金額 1億6,054万円

海外協定大学での授業や生活を通じて国際交流や長期留学への関心を高めることを目的としています。広島大学基金では海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費を支援しています。



3 大学院生のための 国際学会発表支援 2010年度～

支援人数 1,939人 支援金額 7,096万円

大学院生が海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進し、国際的に通用する人材の育成を行うことを目的としています。広島大学基金では、学会発表に必要な経費を支援しています。

4 総合科学部国際共創学科留学生支援金 2018年度～

2018年4月開設の総合科学部国際共創学科では、国際社会の抱える諸課題を理解し、大きく変動する世界情勢に対応するために、世界中から集まった学生と一緒に学び、文化間のコミュニケーション能力、互いの相違を認め合う寛容性や多角的な視点・思考力、そして協調性を身につけていきます。授業はすべて英語で行われ、留学生も多数在籍しています。広島大学基金では、留学生の在学中の経済的負担を軽減し、意欲ある優秀な留学生が安心して勉学に専念できるよう支援しています。

VOICE 奨学生の声
YUGHIE JUNIOR ALVADIVIA
(ユギー ユニオル アルファディフィア) さん

総合科学部 国際共創学科 (IGS) 3年次生

私はインドネシアのカリマンタン島の出身です。故郷で放映されていた日本のアニメを通じて、自然と日本語に興味を持つようになりました。大学では主に環境や化学について学びながら、情報科学部のプログラミングや教育学部の授業も履修しています。大変なこともありますが、とても新鮮な日々を送っています。2023年5月のG7広島サミットには通訳ボランティアとして参加しました。自分が住んでいる場所でのサミットが行われることはなかなかないので、挑戦するしかないと思いました。学費負担なく勉強し、多くのことに挑戦できるのは奨学金のおかげです。この制度が続いてほしいと強く願っています。



奨学生の声の全文はこちら



5 法科大学院奨学金 2017年度～

本学法科大学院の学生や法務研修生の司法試験合格をサポートするため、一定の基準を満たす学生・法務研修生のための奨学金制度を用意しています。



学生インタビュー *interview*

支援を受けた学生に聞きました!



支援を受けたその他の学生の紹介はこちら

ゲノム編集技術を活かして
嗅覚受容体の機能を研究



浮田有美子さん
大学院統合生命科学研究所
博士課程後期 1年次生

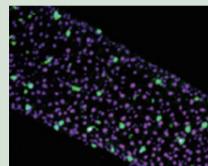
基金を活用した
「卓越大学院プログラム奨学金」
を受給

●「ゲノム編集」*という言葉をよく耳にしますが、どんなことを学ぶのですか?

私の研究は、生命現象の謎を解明する基礎研究ですが、ゲノム編集技術を習得すると、分子レベルで生命現象を解明することができます。ゲノム編集技術を活かして、たくさんのゲノム編集個体を作り出し、自身の研究を進展させています。

●行っている研究について教えてください。

具体的には、嗅覚受容体が嗅覚以外でどのような機能を持つかを解明するための研究を進めています。嗅覚受容体は匂いを感知するための受容体です。鼻の奥の、嗅上皮に多く存在します。近年、この嗅覚受容体が鼻だけでなく、体のさまざまな「非嗅覚組織」に存在することが明らかになってきました。しかし、ほとんどの非嗅覚組織の嗅覚受容体は、その機能が明らかになっていません。私は、キリンショウジョウバエというモデル生物を用いて解析を進めており、非嗅覚組織における嗅覚受容体の新機能を解明したいと考えています。



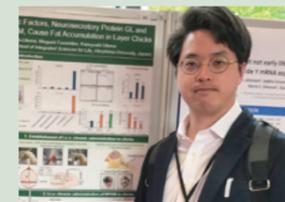
ショウジョウバエ腸にある
嗅覚受容体発現細胞(緑)

*ゲノム編集…生物が持つゲノム上の特定の塩基配列を狙って変化させる技術

奨学生の声の全文はこちら



国際学会での受賞が
研究活動への意欲と自信に



加藤正暉さん
大学院統合生命科学研究所
博士課程後期 2年次生

基金を活用して国際学会(12th
International Symposium on
Avian Endocrinology)で発表(イギリス・エディンバラ)し、若手研究者に
贈られるEarly Career Researcher
Runner up Awardを受賞

●参加した学会について教えてください。

International Symposium on Avian Endocrinologyは鳥類の内分泌学の分野に関する国際学会です。本学会は、鳥類の生理、繁殖、遺伝、行動など多岐にわたる分野に関わる内分泌の最新の研究成果を共有することを目的に、4年に一度開催されています。

●国際学会に参加していかがでしたか。

学会ではポスター形式で発表を行い、自身の研究内容について時間をかけて説明することができました。質疑応答では、日本語であればすぐに答えられる内容に関わらず、瞬時に英語が出てこない場面がありましたが、研究内容に対してはポジティブな反応が多く、自身の研究が国際的にも通用することを実感したことで自信にもなりました。私にとって初めての国際学会の参加となりましたが、自身の見識が広がったと実感するとともに、これからは積極的に国際的な研究活動を進めていきたいと強く思いました。このような機会を与えていただいた国際学会発表支援制度に、大変感謝しております。この支援制度が存続されることを願っております。

奨学生の声の全文はこちら



冠事業基金

寄付をいただいた方のご芳名などを冠して、寄付者様のご厚意が見える形にした「広島大学冠事業基金」を2015年度に創設しました。
寄付方法は、一口5万円の毎月の継続寄付で、当面は外国人留学生への奨学金と日本人学生への海外留学資金を中心に活用します。

- | | | | | |
|---|--|--|--|-----------------------------------|
| 医療法人社団慈恵会
いまだ病院
院長
大杉 健 様 | 医療法人社団伯瑛会
のぞみ整形外科
理事長
金田 瑛司 様 | 医療法人社団スマイル
博愛クリニック
理事長
高杉 啓一郎 様 | 株式会社やまだ屋
代表取締役
中村 靖富満 様 | 大正富山医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様 |
| 株式会社にしき堂
代表取締役社長
大谷 博国 様 | 株式会社南江堂
代表取締役社長
小立 鉦彦 様 | 戸田工業株式会社
取締役社長
寶来 茂 様 | 株式会社
日本クライメイトシステムズ 様 | 医療法人社団マッキー
理事長
松木 啓 様 |
| 大谷 美奈子 様 | 医療法人K&Clover
理事長
小林 健二 様 | 田中 純子 様 | 猫本 宏司 様 | 医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様 |
| 医療法人せいざん
青山病院
院長
大村 泰 様 | 坂下 勝 様 | 株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様 | 林 淳二 様 | 医療法人明笑会
理事長
安本 正徳 様 |
| 弁護士
緒方 俊平 様 | オタフクソース株式会社
取締役会長
佐々木 直義 様 | 医療法人社団清流会
理事長
永井 賢一 様 | 医療法人昭和
原田整形外科病院
理事長
原田 昭 様 | 株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様 |
| 医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様 | 佐藤 利行 様 | 医療法人S.R.C.
中光整形外科リハビリクリニック
院長
中光 清志 様 | 平尾 泰保 様 | 株式会社ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様 |
| 越智 光夫 様 | 医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様 | 中村 英雄 様 | 医療法人社団まりも会
ヒロシマ平松病院
理事長
平松 廣夫 様 | |
| 医療法人KOC
金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様 | 株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様 | | | |

※公開をご承諾いただいた方を掲載しています。掲載情報およびご芳名はご寄付当時のものです。

主な支援プログラム

- ユネスコインターンシップ派遣奨学金
- 国際共創学科外国人留学生奨学金
- 留学生入学前奨学金
- 国際共創学科海外留学奨学金
- 国際連携専攻学生奨学金
- 法曹養成コース奨学金
- 短期海外派遣(AIMS/PEACE)プログラム支援金
- 短期交換留学(HUSA)プログラム支援金

学生インタビュー

※学生の所属先・学年は取材当時のものです。



経験したことを社会に還元したい。
日本で働きたい。
総合科学研究科
総合科学専攻 博士課程前期 2年次生
蔣 潔程さん
ユネスコインターンシップ派遣奨学金
タイ・バンコク事務所 従事
(2019年4月9日～9月20日)



思ってもみなかった方向へ
人生が動き出す予感
総合科学部
2年次生
上條由建さん
短期交換留学(HUSA)プログラム
フィンランドへ留学(2019年8月～12月)



最先端のがん研究に触れ、
研究活動に専念
先端物質科学研究科
博士課程前期 2年次生
臼井颯哉さん
カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)
インターンシップ派遣支援
アメリカへ派遣(2020年1月～2月)



リトアニアで過ごした日々から
見えてきたこと
総合科学部
3年次生
江口 綾さん
短期交換留学(HUSA)プログラム
リトアニアへ留学(2022年1月～6月)

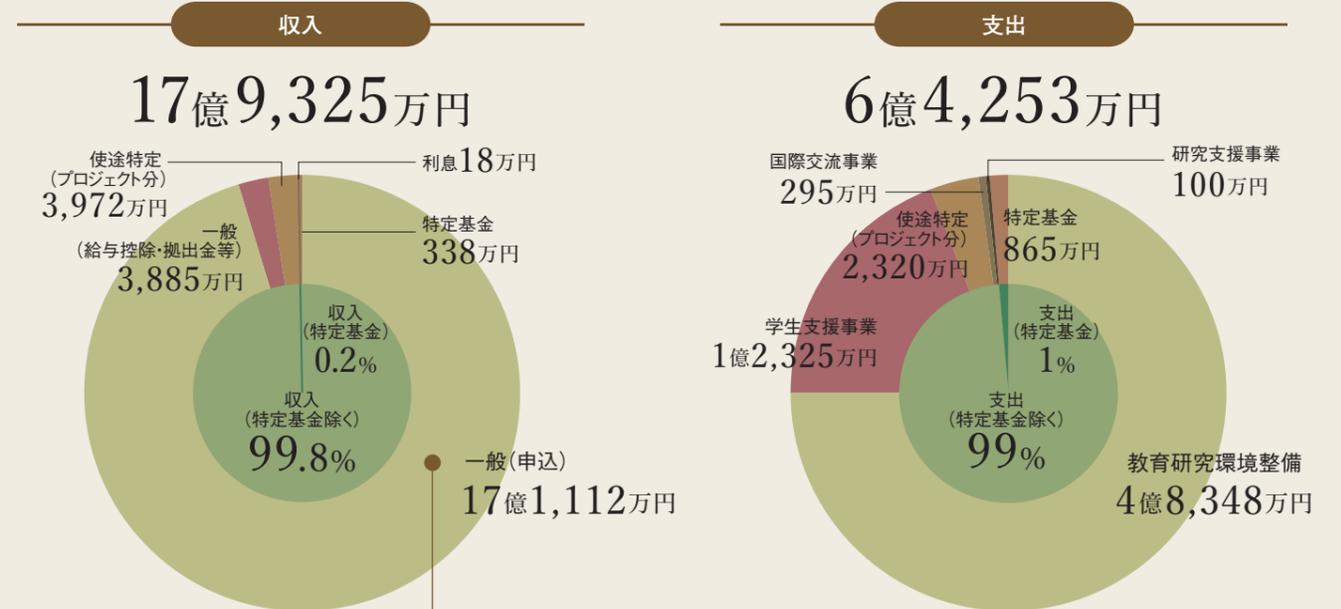
支援を受けた学生の紹介はこちらから



広島大学基金の概要 [2015—2022年度]

2022年度 収支状況

2022年度は、総額約17億9,325万円のご寄付を頂戴しました
皆様からのご支援に、心より感謝申し上げます



広島大学基金 寄付種別一覧

広島大学基金では、寄付金の使途や寄付先に応じた基金を設立しています
学生支援財政基盤の安定にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

FUND 1

広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金

(広島大学75+75周年に向けて)

2024年に広島大学創立75周年、創立前史の75年を加えて150年の節目の年を迎えるにあたり、学生支援事業、国際交流拠点事業、研究支援事業に加え、各キャンパスの特徴を活かした拠点化を目的として、寄付募集を行うものです。これらの事業を通して、発展・躍動する広島大学を地域や地元実業界の方々が最大限に活用し、広島の地が活性化することを目指しています。広島大学発祥の地・東千田キャンパスでは、法学部を東広島キャンパスから移転し「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として整備します。東広島キャンパスでは、国際交流拠点施設を整備し、グローバルキャンパスの実現・起業や投資の増加による広島の活性化を目指します。霞キャンパスでは、「誰もがもっと安心して暮らせる広島」を目指した人生100年時代を見据えた医療の高度化・活性化を進めます。



FUND 2

創立75+75周年記念事業基金

75周年を契機に、改めて本学の歴史およびこれまでの構成員の功績を振り返るとともに、多くの皆様からいただいたご支援に思いをはせ、感謝し、本学の成果を広く還元すべく、記念事業を展開します。本基金は2024年11月まで募集しており、周年記念事業の開催経費に活用します。



FUND 3

修学支援事業基金

独自の奨学金支援制度「フェニックス奨学金」など、学力が優秀でありながら、経済的理由により修学が困難な学生を支援しています。本基金は、個人寄付について「所得控除」に加え、「税額控除」の適用対象です。



FUND 5

冠事業基金

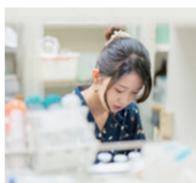
寄付者氏名など、寄付者が希望する名称を冠とする月額50,000円を一口とした定額制の寄付制度です。日本人学生の留学支援、外国人留学生の日本留学支援等を行います。



FUND 4

研究等支援事業基金

さまざまな国籍の研究者が集まる国際学会において、大学院生が研究成果を発表するなど、若手研究者のための支援を行います。本基金は、個人寄付について「所得控除」に加え、「税額控除」の適用対象です。



FUND 6

PEACE PROJECT

人類史上最初の被爆地に開学した国立大学として、世界平和の構築を目指し、世界各地から未来の平和の担い手である学生を広島に招き、実地での見聞を通して平和の尊さを学ぶ場を提供するために活用します。



FUND 7

スポーツ振興基金

スポーツに取り組む学生への支援、地域におけるスポーツに関する社会貢献活動、キャンパス内のスポーツ施設の充実、広島大学スポーツセンターの運営を支援します。



FUND 9

外国人留学生支援基金

世界で活躍するグローバル人材の持続的な育成・輩出を目的として、広島大学に在籍する私費外国人留学生に対する経済的な環境を整えるための奨学金として活用します。



FUND 11

高等教育研究開発センター 創立50周年記念基金

50周年を迎えた本センター(RIHE)において、RIHE国際共同研究賞、RIHE若手研究者賞の創設を通じて、有為な若手研究者・グループの支援を継続して行います。



設立当時の大学教育研究センター(本センターの前身)

FUND 13

医学部医学科基金

医学部医学科の学生を対象に、奨学金支援、国際交流支援、施設整備など、教育方法の改善を含む充実した教育環境の整備を支援します。



FUND 15

歯学部基金

歯学部の学生を対象に、奨学金支援、国際交流支援、施設整備などの教育・研究環境の整備を支援します。



FUND 8

附属中・高等学校「友誼の御園」基金

グローバルな社会で活躍する、科学技術人材の基礎を培うためのカリキュラム開発をはじめ、先導的なカリキュラム研究開発を推進し、国際的に活躍する人材育成を支援します。



FUND 10

ワクチン製造拠点基金

中分子医薬品の治験薬製造やCOVID-19以降の新しいタイプの治験薬を製造できる施設整備、ワクチンを含む医薬品を安全に製造するための教育等へ活用します。



FUND 12

ひろだいそうか基金

総合科学部担当教員が指導する学部生・大学院生の留学や国際学会発表、地域での社会貢献活動、フィールド調査等の学外活動を充実するための支援を行います。



FUND 14

医学部保健学科基金

医学部保健学科の学生を対象に、国際交流支援事業や社会貢献事業など、保健学科の「教育の国際化」の取組みを支援します。



FUND 16

病院ファミリーハウス運営基金

小児がん拠点病院として、地域全体の小児がん医療の中心的な役割を担う広島大学病院の入院患児と、広島大学病院ファミリーハウスを利用する家族の経済的・精神的負担を軽減するために活用します。



広島大学病院ファミリーハウス(広島市)

寄付者顕彰・特典

広島大学基金では、ご寄付をいただいた方に感謝の気持ちを込めて、以下の顕彰を行っています

》 称号の贈呈

一定額以上の寄付をいただいた方に、以下の称号を贈呈いたします(寄付額はいずれも累計)。

寄付の累計金額		称号種類
個人	法人	
10億円以上	20億円以上	特別荣誉学賞
5億円以上	10億円以上	荣誉学賞
5,000万円以上	1億円以上	学賞
500万円以上	1,000万円以上	名誉校友
50万円以上	100万円以上	特別校友



特別校友記

名誉校友記

紺綬褒章について

「紺綬褒章」は国の褒章制度の一つで、公益のために、私財(個人500万円以上、団体1,000万円以上)を寄付した方に国から授与されるものです。本学は、内閣府賞勲局より紺綬褒章に係る公益団体として認定を受けており、ご寄付者のご意向に添って国へ紺綬褒章の推薦をいたします。

》 記念品の贈呈

一定額以上の寄付をいただいた方に、広島大学オリジナルの記念品を贈呈いたします(寄付額はいずれも累計)。



1 学章入りペーパーウェイト

学章が刻印されたガラス製のペーパーウェイトです。
個人 10万円以上 法人 50万円以上

2 学章入り万年筆

広島県発祥のセラー万年筆製。書き心地が良いと好評の記念品です。
個人 50万円以上 法人 100万円以上

3 モール付徽章 寄付金額別に3種ご用意しています。(純銀製)

[イエローゴールド]
個人 5,000万円以上 法人 1億円以上

[レッドゴールド]
個人 500万円以上 法人 1,000万円以上

[シルバー]
個人 100万円以上 法人 500万円以上

4 24金学章 学章を象った純金製のバッジです。

個人 500万円以上 法人 1,000万円以上



3 (左からイエローゴールド、レッドゴールド、シルバー)



4

上記以外にも次の記念品があります

14金メダル

個人 10億円以上
法人 20億円以上

10金メダル

個人 5億円以上
法人 10億円以上

純銀メダル

個人 5,000万円以上
法人 1億円以上

数量限定!

》 イラストの贈呈

呉市出身のイラストレーター カミガキ ヒロフミ氏による本学キャンパスイラスト「広島大学 知のワンダーランド」を贈呈いたします。東広島キャンパスを中心にカミガキ氏の得意とする細密かつ色鮮やかで



ポップなタッチで描かれており、霞・東千田キャンパスの建物も描写。遠景には、広島を象徴する原爆ドームと厳島神社も描かれています。

個人 200万円以上(累計) 法人 500万円以上(累計)

》 寄付者のご紹介

広島大学基金にご支援いただいたことを長く記録にとどめます。感謝の気持ちを込めて、ご寄付いただいた方のご芳名を広報誌・ホームページ等でご紹介いたします(希望者のみ)。



》 ご寄付の方法

1. インターネットからのお申込み

広島大学基金ホームページでは、以下の方法によるご寄付が可能です。

- インターネットバンキング決済
- クレジットカード決済
- コンビニエンスストア決済



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>

2. 払込取扱票によるお申込み

本学指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、郵便局および全国の金融機関窓口より払込ください。郵便局の払込機能付きATMもご利用いただけます。払込取扱票による寄付をご希望の方は、広島大学基金室までご遠慮なくお問い合わせください。後日、払込取扱票を郵送いたします。

広島大学基金室

TEL 082-424-6132 FAX 082-424-6179
E-mail kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

詳しい情報はここから



三井住友信託銀行



三菱UFJ信託銀行



広島銀行



READYFOR

遺贈によるご支援のご案内

広島大学では、三井住友信託銀行(株)、三菱UFJ信託銀行(株)、(株)広島銀行、READYFOR(株)の各パートナーと連携し、皆様からのご支援を受け入れています。また本学へのご寄付は、相続税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けられます。